

7-3 オープンキャンパス

2025 年 6 月 14 日（土）に、オンサイト形式にて分子研オープンキャンパスを開催した。周知方法としては、各研究教育機関へのポスター送付、専用 HP（<https://www.ims.ac.jp/sokendai/>）、分子研 X（旧 twitter）、YouTube ショート動画（<https://www.youtube.com/@bunshiken/shorts>）などを通じて、広報活動を 2 ヶ月程度行った。日本全国から 50 数名の大学生・大学院生の参加があった。

午前の部は、岡崎コンファレンスセンターの大隅ホールにて 9 時 50 分から開催された。所長と大学院委員長による分子研・総研大の概要説明の後、大学院入試の説明、及び参加者からの質問回答の時間が設けられた。ラボ紹介 PR セッションでは、約 10 の研究室の教員から、分子研で行われている最先端の研究取り組み内容の紹介があった。難しい内容も一部含まれていたが、多くの参加学生が熱心に聴講している様子が大変印象的であった。その後、総研大現役大学院生 3 名によるキャンパスライフトークと質問回答セッションがあり、分子研でどのように研究活動を行っているのか、岡崎でどのように過ごしているのか等についての紹介があった。

お昼休憩時間は、新しくなっている職員会館の 1 階のオープンスペースで約 1 時間のランチ交流会を実施した。和気藹藹とした雰囲気の中で、様々な出身大学の学生さんと分子研の教員・大学院生の間で交流が活発にすすみ、あっという間に時間が過ぎた。今回のランチ交流会では、会場に掲載していた研究室紹介のポスターでの議論も白熱していたことが印象的であった。

午後の部では、明大寺キャンパス及び山手キャンパスのラボツアーが行われた。オフィスでの研究室紹介や実験室での研究室紹介を中心として、様々な形態でラボツアーが実施された。今年は、参加学生に研究室訪問の時間帯を調整してもらうなどのお願いをしていたこともあり、訪問学生の一極集中による混乱をある程度避けられ、訪問学生にもより充実した研究室見学を行ってもらえたのではないと思う。

次回開催に向けて改善できる余地はありそうだが、以上のように、参加された先生方や大学院生、運営スタッフの方々のご協力により充実したオープンキャンパスを開催することができた。